

安保破棄、沖縄基地撤去即時全面返還。11月佐藤訪米阻止北向計

全学総決起に起る

11、13、17佐藤訪米阻止斗争の意義は何か

11、17の佐藤訪米は、67年佐藤訪米以来続けられた日米関係の統合上にとしてある。二の佐藤訪米の意味するものは強化された日帝が米帝との新たな力関係にモードし、政治・軍事・経済全面にわたる調整を行なうとしていることである。安保・沖縄問題で日帝は、沖縄の核付と自由使用返還・安保自動延長で米帝と意志統一しようとしている。ベトナムにおける敗北を余儀なくされた米帝にとって代った日帝の東南アジア侵略、その支配的地位にのし上がるよりする野望は、安保・沖縄をめぐる全面的再編成の貫徹としてある。この政府独自の内外にわたる南北・朝鮮半島を粉碎する斗争として、学園の民主的改革斗争、生産者での合理化斗争等が巨大な反独占の斗争へと前进しなければならぬ。そのような斗争の当面の中心環として佐藤訪米阻止斗争が存在している。佐藤訪米阻止・佐藤内閣打倒の現実的力関係の創出によつて、政府独占のアコタラムを大きく転換させていく斗争を今秋期より70年へ向かって組んでいき、その斗争の力をイタリア、フランスにみられる反独占斗争の高揚として、70年代に結実させねばならない。

課題と基本戦術の一一致の共斗の原則の下、全員の学友・統評会員が者と連帯し巨大な隊列で斗えり、21斗争において「首都中枢制圧」「北大阪制圧」なる空文句を叫んだトロ諸派の極左威勢が、あの圧ト的高揚した運動に何の有利性も得なかつたばかりか、却つて既生勢力の巨大な運動の障害物として存在したという事実を免まねば、あるいは民青諸君の天王寺野外音樂堂における分裂集会が高範が学友を混乱させた事も居ますなり、「課題と基本戦術の一一致に基く行動の統一」という共斗原則が今ほど重要な意味を持つ時ではないだろう。11・13に統評の62の單産・单組がスート斗争とをすでに決定している。70年斗争を担う新たに墳が生まれつつある。我々はかかる労働者の決起を歓迎・支持し、佐藤義米阻止・全田学生共斗の旗の下、全ての学生斗争の力を結集し、統評労働者と連帯して斗うであろう。

全ての市大の学友諸君が、明白の金刀篆決起に結集し、11・13全団スト貫徹全大阪青年総決起集会へ合流し、青年労働者と共に

日 12
13佐藤訪米田上全田スト貫徹全大阪青年総決起
集会 並進会場及演講事務 次の後 中野まで行方
無説金田又不^レ金田學生統一行列
金田西學生總決起集会 中之島刺崎公園
中学生決起集会 大阪總督主催 一丁目一番新一丁屋橋
14午後福士中野

佐藤訪米阻止学生共斗 市大嘆行